

木質チップボイラー火入れ式

平成26年3月3日、芦別温泉スターライトホテル（芦別市旭町湯谷）において、道議会議員ほか約50名が出席し、木質チップボイラーの火入れ式が行われました。

芦別市では、平成21年度に「地域新エネルギービジョン」を策定し、地域内における未利用材木質資源の利用を促進し、木質バイオマス資源として効果的に使用するため、



【木質チップボイラー施設】



【セレモニーの様子】

木質チップボイラーを導入・供給するため、森林整備加速化・林業再生事業補助金等を利用し、公共施設である「健民センター」（温泉・宿泊施設）へのボイラー導入の整備を進めてきました。

式に先立ち、清澤芦別市長より健民センター施設等への熱供給の整備が整い、本日本稼働の火入れ式を迎えられたことに対する謝辞と今日までの経過、関係者に対するお礼が述べられました。



【芦別市長あいさつ】

また、来賓者を代表して空知総合振興局長の挨拶に引き続き、清澤芦別市長ほか代表者6名により、出席者の見守る中、火入れ式のテープカットのセレモニーが行われました。



【テープカットの様子】

テープカット終了後、木質チップボイラーのお披露目と火入れ式が行われ、本稼働の第一歩がスタートしました。



【施設内のお披露目】



【導入された木質チップボイラー】



【清澤芦別市長による火入れ】



【火入れ】

今後、木質チップボイラーの導入により、市内での経済循環・未利用材資源の有効活用が図られ、様々な効果が期待されるところであり、当署としても地域と連携を密にして未利用材資源の供給に取り組むこととしております。